

平成30年度 狭山市立狭山台小学校 学校関係者評価報告書

【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(75%)
C：あまりできていない(60%) D：できていない(60%未満)

目標領域	番号	項目	教職員	保護者	児童	改善策(説明)	学校関係者評価委員会から(評価)
かしこい子	1	児童は、相手に届く声で話したり音読したりしている。	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を丁寧に書くことについて粘り強く繰り返し指導していく。 ・学習内容の定着が課題である。児童への指導と併せて家庭への啓発も続けていく。 ・算数において少人数指導を取り入れわかりやすく丁寧な指導を行っている。児童アンケートで約90%の児童が「勉強がすきだ」と回答している。4月県調査でも学習する理由に「楽しい・好きだから」という回答が調査した全学年(4、5、6年)で県平均より10ポイント以上高くなっており、指導の成果の表れと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子は静かで、落ち着いており、学力向上に結び付いていると感じる。 ・家庭学習は宿題+αなので、昔よりレベルが上がっている。 ・家庭学習の習慣化には、低学年から重点的に取り組む必要があると思う。
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。(下敷き・消しゴムを上手に使う)	C	B	B		
	3	児童は、進んで家庭での学習に取り組んでいる。(塾等での学習を含めて〔10×学年〕分)	C	B	C		
	4	学校(教員)は、わかりやすい授業に努めている。(めあての明示、児童が自分の言葉でまとめる授業の展開)	A	A	A		
	5	学校は、学習内容が子供に身に付くように努めている。	A	A	A		
やさしい子	6	児童は、自分から目を見て挨拶している。	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、年間を通じて計画的に指導してきた(全学級が取り組む挨拶運動、児童会の挨拶運動等)が、個人差が大きい。進んで挨拶ができるよう指導を継続する必要がある。 ・言葉づかいの指導と合わせて人権教育を進めた。いじめ等の防止のために日頃から児童の様子に注意を払うとともに、年3回のアンケート調査を実施した。 ・道徳授業の充実させるとともに、学級活動の活性化を図り、自己有用感を高める取り組みを今後も継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔なじみの児童が増え、学校以外でも挨拶をしてくれる子が増えてきた。 ・朝のあいさつで感じることは、親の挨拶の態度が子供と同じである。つまり、親の意識が子供にも影響を与えている。 ・年々落ち着いてきているという印象である。
	7	児童は、相手を思いやるやさしい言葉づかいをしている。	B	B	B		
	8	児童は、集団のために活動している。(係活動、当番活動、清掃など)	B	A	B		
	9	児童が学校は楽しいと思えている。	/	A	B		
	10	児童にいじめを許さない心を育てるとともにいじめの早期発見・早期対応に努める。	A	/	/		
	11	内面を高めていく道徳授業の展開。道徳的実践力を高める指導。	B	/	/		
	12	学校は、児童が安心して過ごせる環境を作っている。	A	A	B		
たくましい子	13	児童は、何事にもあきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の見届けと評価で児童は意欲的に取り組んでいる。 ・運動のカード等により意欲化を図るとともに校庭整備、運動の場づくりを進め、体力向上を図っている。体力テストの結果は低下傾向が続いている。今後さらに対策を検討する。 ・毎月安全点検を行いその都度対処している。引き続き施設管理、安全指導に努めていく。交通安全に関しては、大事故につながりかねない危険な状況がまだ見られる。引き続き繰り返し指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの結果から、少しずつ体力の向上が見られる。日頃の学校生活での取り組みが成果を上げているのではないかと。 ・地域の見守り隊や校外委員さんのおかげで登下校の安全確保ができている。
	14	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	A	A	B		
	15	児童は、早寝・早起きをし朝ごはんを食べて登校している。	B	A	B		
	16	児童は、交通ルールを守り、安全な歩行・自転車乗車をしている。	B	A	B		
	17	学校は、体力を向上させるための指導や環境づくりに取り組んでいる。	B	A	B		
	18	学校は、児童の安全確保に努めている。(安全指導、清掃、修繕等)	A	A	B		
公開・連携	19	学校は、学校公開、授業参観・懇談会、学校だよりや学年だよりなどで学校や教育活動の様子がわかるようにしている。	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学年便り、各種通知文書等により、教育活動を伝えるとともに理解・協力を求め、教育活動の充実に努めた。 ・家庭訪問、個人面談、さらに適宜、面談、電話連絡等を行い連携を深めた。 ・親子活動、地域との連携行事を進めた。親子活動の内容の充実が図れた。 ・会計は毎年度、管理職とPTA役員でチェックしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターの事業や放課後教室の事業に多くの子が参加している。地域の支えを感じている。 ・来館している児童の表情は明るく、特に問題はない。
	20	学校は、保護者が教員に相談しやすい環境をつくっている。	B	A	B		
	21	学校は、保護者や地域との連携に努めている。	B	A	A		
	22	学校は、学年・行事等の会計を適切に処理し報告している。	A	A	/		
教職員	23	全教職員で学校経営方針に基づき組織的に教育活動を進めている。	A	/	/	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で共通理解を図り、組織としてまとまった教育活動ができた。 ・人間地区算数数学授業研究会の会場校となり、算数科の授業研究を深めたことが授業改善に結びついている。 ・職員の負担軽減の具体的方策を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の負担が多くなっている時代なので、様々な面で協力や支援をして、学校家庭地域連携して、児童を育てていきたい。
	24	教職員が組織の一員として自分のよさを発揮して勤務している。	B	/	/		
	25	教職員が積極的に研修に取り組むとともに、自己研鑽に努めている。	B	/	/		